

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
221331063	栄養教育論Ⅱ Nutrition Education Theory II	田中 優成			2	必修	3前期

科目の概要

管理栄養士に不可欠な専門的知識・技能だけでなく一般的知識・技能に加えて社会人基礎力やpisa型学力を身につけ、人々の日常生活を健康の面から支援することができる管理栄養士の育成を目指す(DP2・3・4・5)。そのために、本科目では対象者のライフスタイルや食環境まで含めたライフステージ別に異なる栄養教育について理解し、栄養教育計画に基づいた栄養管理・栄養指導を展開する方法を修得する。

学修内容	到達目標
① 各ライフステージにおける栄養教育の違いを理解する ② 各ライフステージにおける栄養教育内容と適切な情報収集の方法を理解する ③ 各ライフステージに合わせた栄養教育計画の立案方法を理解する	① ライフステージに応じた栄養教育のポイントを理解し、それぞれの違いについて説明できる ② ライフステージに応じて適切な栄養教育の方法を選択し、アセスメントによって得られた情報を適切に活用できる ③ ライフステージに応じて適切な栄養教育計画を立案することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自ら予習し自発的に授業に取り組むことができる
	働きかけ力	
	実行力	適切な情報源から情報を収集し、予習を行うことができる
考え抜く力	課題発見力	授業内で理解できなかった自己の課題を発見し、自己の課題を認識して課題解決の学修に取り組むことができる
	計画力	
	創造力	修得した知識・技能を最大限に活用して従来の常識や発想を転換し、新しい解決策を想起することができる
チームで働く力	発信力	他者が見てもわかりやすく、理解してもらえるように、図表や表現を工夫して授業ノートをまとめることができる
	傾聴力	他者とのディスカッションの中で、自分とは異なる新たな視点として受け入れることができ、それに対して返答をすることができる
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	授業内で決めたルールを遵守することができる
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

◎健康・栄養科学シリーズ 栄養教育論 改訂第5版 編集：武見ゆかり他 監修：医薬基盤・健康・栄養研究所
 ◎栄養教育・栄養指導論演習・実習 〔第3版〕 編集：堀田千津子他

他科目との関連、資格との関連

【他科目との関連】
 栄養教育論Ⅰで身につけた栄養教育の基礎的な理論や栄養カウンセリングに関する技法などを用いた授業であり、専門実践実習や栄養教育論実習Ⅱに向けて実践的な栄養教育の方法を学ぶ。

【資格との関連】
 管理栄養士 栄養士 栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
栄養教育Ⅰで学んだ行動変容技法や応用栄養学Ⅰ・Ⅱで学んだライフステージによる違いを基本にしながら対象者によって異なる栄養教育を理解しましょう。同じ年齢でも個々の行動変容ステージや環境、性格等によりオーダーメイドの教育が必要になります。	「覚える」のではなく、「考える」ことがメインとなる科目です。他科目で学んだ知識を活用することが多いため、必ずこれまでに学修した内容を復習しておきましょう。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標			各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	60	①	✓		【持ち込み可】 症例を基に栄養教育計画を適切に立案することができるかを筆記試験にて評価する	
				②	✓		※試験に持ち込めるのは授業で使用したPCRシート兼授業ノートで確認済印が押されているものに限り、授業スライドやレポート等の持ち込みは一切禁止する	
				③	✓			
								発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 20% (活用) 40% (解決) 40%
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
		レポート	30	①	✓			6回分の指導案作成を行い、その点数を合計して評価する。（6回×5点＝30点） 評価観点は以下の通り。 ・目標設定が正しく記載されている。（2.5点） ・教室名が明確で参加したくなるような工夫が見られる。（0.5点） ・内容が導入・展開・まとめに明確に分かれている。（0.5点） ・導入で対象者が問題者意識を持つことができる。（0.5点） ・誰が見ても同様の指導ができるように記載されている。（0.5点） ・適切な教材・媒体を使用している。（0.5点）
				②	✓			
				③	✓			
							発揮するpisa型学力の構成割合 (獲得) 0% (活用) 50% (解決) 50%	
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自発的に予習に取り組むことができる （実行力）粘り強く取り組むことができる （課題発見力）情報収集や分析をして、課題を明らかにすることができる （創造力）PCRシートに新しい解決策を想起することができる （発信力）PCRシートの図表や表現を工夫することができる （傾聴力）ディスカッション時にしっかりと発言し、意見を聴き入れることができる （規律性）授業で決められたルールを遵守することができる	
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
対象者に応じた栄養教育を立案及び学修した知識を使って適切な栄養教育の実施ができる。また、適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が90%以上をS、80%以上をAとする。	適正な栄養教育のポイントをまとめることができ、学修成果及び学修行動の得点率が70%以上をB、60%以上をCとする。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	「オリエンテーション」 授業の運営、目標、評価方法等を理解し、栄養教育Ⅰで学修した栄養教育マネジメント、行動変容技法を復習する	講義	栄養教育の種類と特徴、アセスメント項目について理解する	予習：栄養教育の種類や手法を見直す 復習：栄養教育マネジメントサイクルの流れを確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	「ライフステージ別栄養教育（妊娠期／授乳期）①」 妊娠期／授乳期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	妊娠期／授乳期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：妊娠期／授乳期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	「ライフステージ別栄養教育（妊娠期／授乳期）②」 適切な離乳食教室についての栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	妊娠期／授乳期における適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「ライフステージ別栄養教育（乳幼児期）①」 乳幼児期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	乳幼児期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：乳幼児期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	「ライフステージ別栄養教育（乳幼児期）②」 乳幼児期における栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	乳幼児期における適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	「ライフステージ別栄養教育（学童期／思春期）①」 学童期／思春期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	学童期／思春期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：学童期／思春期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	「ライフステージ別栄養教育（学童期／思春期）②」 児童／生徒を対象とした栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	学童期／思春期における適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	「ライフステージ別栄養教育（成人期／高齢期）①」 成人期／高齢期の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	成人期／高齢期の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：成人期／高齢期の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9	「ライフステージ別栄養教育（成人期／高齢期）②」 特定健康診査／特定保健指導における栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	成人期における適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	「ライフステージ別栄養教育（成人期／高齢期）③」 地域在住高齢者を対象とした栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	高齢期における適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	「ライフステージ別栄養教育（アスリート）①」 アスリートの特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	アスリートの特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：アスリートの特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	「ライフステージ別栄養教育（アスリート）②」 アスリートを対象とした栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	アスリートに対する適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	「ライフステージ別栄養教育（傷病者／障害者）①」 傷病者／障害者の特徴・アセスメント項目・栄養教育のポイントを学修する	講義 ディスカッション	傷病者／障害者の特徴と栄養教育との関係性がわかる	予習：傷病者／障害者の特徴を理解しておく 復習：栄養教育のポイントをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	「ライフステージ別栄養教育（傷病者／障害者）②」 傷病者／障害者を対象とした栄養教育計画を考える	演習 ペア・グループワーク ディスカッション	傷病者／障害者に対する適切な栄養教育計画を立案できる	予習：栄養教育の草案を考える 復習：栄養教育計画を見直す	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	「まとめ」 各アセスメント項目・栄養教育のポイントを復習し、それぞれの栄養教育の違いを考える	講義 Google Classroom	それぞれのライフステージによる違いを説明できる	予習：理解できていない項目を調べておく 復習：ライフステージによる栄養教育のポイントの違いをまとめる	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力